

ミュージアムと 地域のステキな関係

ー 地域に発信するミュージアム、そして県女 ー

第39回
群馬学 連続
シンポジウム

2021年
10月16日 (土)
13:30~16:00

参加費 : 無料
開催方法 : オンライン (Zoomミーティングを利用)
※本シンポジウムはインターネット開催です。
大学には入れませんのでご注意ください。

第一部 講演

「美術館で働いて」

中島 幸子 [元群馬県立近代美術館 学芸員]

「かまちの生きた街・文化芸術の高崎」

城尾 実希 [高崎市山田かまち美術館 学芸員]

「日本絹の里の活動」

竹内 美里 [群馬県立日本絹の里 ディレクター]

第二部 パネルディスカッション

「県女が育む大学・ミュージアム・地域の絆」

パネリスト 中島 幸子 [元群馬県立近代美術館 学芸員]

城尾 実希 [高崎市山田かまち美術館 学芸員]

竹内 美里 [群馬県立日本絹の里 ディレクター]

奥西 麻由子 [群馬県立女子大学 准教授]

桐淵 彩良 柴田 柚穂 内川 瑞穂

[群馬県立女子大学大学院文学研究科修士課程芸術学専攻 学生]

コーディネーター 築瀬 大輔 [群馬県立女子大学 准教授]

※お申し込み方法は裏面をご覧ください。

お問い合わせ

〒370-1193

群馬県佐波郡玉村町上之手1395-1

群馬県立女子大学事務局

TEL:0270-65-8511 FAX:0270-65-9538

E-mail:gunmagaku-center21@mail.gpwu.ac.jp

WEB:https://www.gpwu.ac.jp/

ぐんま県民カレッジ連携講座

※本シンポジウムの参加認証スタンプは県生涯学習センター2階情報相談フロアで押印します。

主催 群馬県立女子大学

後援 上毛新聞社 群馬テレビ FM GUNMA 群馬歴史散歩の会 群馬県地域文化研究協議会

Flyer design : ryo takahashi

第39回 群馬学連続シンポジウム

ミュージアムと地域のステキな関係

— 地域に発信するミュージアム、そして県女 —

本学はこれまで地域ミュージアム(博物館・美術館等)や文化・文化財行政の分野に多くの卒業生を送り出してきました。また、特定のミュージアムとの連携事業にも取り組んでおり、地域ミュージアムとその背景にある地域社会との関係性を益々強めています。それでは、いま大学とミュージアム、そして地域社会は互いにかなる位置にあり、何を期待されているのでしょうか。そしてそこに群馬固有の特性や課題はあるのでしょうか。

本学は昨年創立40周年を迎えました。また、群馬学センターは開設10周年を迎えました。この記念すべき節目にあたり、県内の地域ミュージアムで活躍する本学卒業生が集い、群馬の地域ミュージアムの魅力や課題、地方で学芸員を養成する本学の特殊性について意見を交わします。そして、大学・ミュージアム・地域の関係性を群馬の特殊性の中で捉える群馬学メソッドを展望します。

参加者募集情報

定員 **80名**

参加資格 **どなたでもご参加いただけます。**

参加費 **無料**

■ 申し込み方法(事前予約が必要です)

- ①10月14日(木)までに、右記QRコード、または本学ホームページから参加申し込みフォームにアクセスし、氏名・住所・メールアドレス等を入力して参加者登録を行ってください。
- ②参加登録をされた方には、後日「接続方法」・「参加上のルール」、及び「講演・報告資料」をメールで送付します。その案内に従って当日サインインして参加してください。



講師プロフィール

中島 幸子 元群馬県立近代美術館 学芸員 **Yukiko NAKAJIMA**

1959年 群馬県太田市生まれ
群馬県立女子大学文学部美学美術史学科(日本美術史専攻)卒
群馬県立近代美術館、群馬県立館林美術館に勤務、2020年3月退職
著作・論文に、「ふたつの県立美術館の教育普及活動について—群馬県立近代美術館と群馬県立館林美術館の事業—」(『群馬県立館林美術館研究紀要』第4号、2004年)、「群馬県立近代美術館ボランティアの25年(インタビュー)」(『群馬県立近代美術館研究紀要』第9号、2018年)。展示図録に、群馬県立近代美術館企画展『近代日本画 昭和前期をふりかえる』(同館刊、1994年)、群馬県立近代美術館企画展『こども+おとな+夏の美術館 まいにち、アート!!』(同館刊、2009年)、群馬県立館林美術館企画展『山口見展 画業ほぼ総覧—お絵描きから現在まで』(同館刊、2014年)など。
群馬県立近代美術館と群馬県立館林美術館で学芸業務全般、教育普及活動を担当した。

竹内 美里 群馬県立日本絹の里 ディレクター **Misato TAKEUCHI**

1990年 群馬県前橋市(旧・勢多郡富士見村)生まれ
群馬県立女子大学文学部美学美術史学科(絵画(実技)専攻)卒
2013年に公益財団法人群馬県蚕糸振興協会(日本絹の里指定管理団体)に入職し、現在に至る。
群馬県立日本絹の里では展示・体験教室の企画運営と広報などを担当。近年では世界遺産登録5周年記念展示「絹遺産を支えた人々への追憶」、特別展「江戸の押絵羽子板と上州の歌舞伎文化」などを企画・実施。展示活動や『日本絹の里紀要』第16号～第23号(同館刊、2014～2021年)などを通じて、群馬の絹文化を全国に発信し続けている。

築瀬 大輔 群馬県立女子大学 准教授 **Daisuke YANASE**

1965年 伊勢崎市生まれ
國學院大学大学院文学研究科博士課程後期修了
日本中世史 博士(歴史学)
群馬県立高等学校、群馬県立歴史博物館を経て、2018年より現職。
著作に『関東平野の中世』(単著、高志書院、2015年)、『中世の北関東と京都』(共編著、高志書院、2020年)、『戦国—上州の150傑—』(共編著、上毛新聞社、2021年)など。
群馬歴史資料継承ネットワーク(ぐんま史料ネット)代表。

城尾 実希 高崎市山田かまち美術館 学芸員 **Miki SHIROO**

1982年 群馬県前橋市生まれ
群馬県立女子大学文学部美学美術史学科(美学専攻)卒
群馬県立歴史博物館(解説員)等を経て、2014年より現職
著作に、「人々の心に寄り添い続けるかまちの作品」(朝日新聞姉妹紙『朝日ぐんま』コラム“文化紀行”、2020年8月21日)、高崎市芸術劇場機関紙『EXCITING』など。
高崎市山田かまち美術館では、山田かまち作品・遺品の収蔵管理、調査研究、展示等の学芸業務、来館者の案内や解説等の教育普及活動、広報に関する業務などに精力的に取り組み、地域に親しまれる美術館づくりに励んでいる。

奥西 麻由子 群馬県立女子大学 准教授 **Mayuko OKUNISHI**

1978年 埼玉県川越市生まれ
東京学芸大学大学院連合学校教育学専攻博士課程修了
アートマネジメント・美術教育 博士(教育学)
埼玉県立高校非常勤講師(美術)、埼玉学園大学非常勤講師等を経て、2012年に群馬県立女子大学赴任、2015年より現職。
著作に「高崎市立美術館における連携事業の実践に関する報告」(『群馬県立女子大学紀要』第42号、2020年)、「大学生の芸術祭参加の可能性～『中之条ビエンナーレ』における実践を通して～」(大学美術教育学会『美術教育学研究』、第50号、2018)など。
アートプロジェクトの企画・運営、2013年より学生による教育普及プログラムの開発と実践を群馬県内の美術館と連携して行っている。

〈お問い合わせ〉

〒370-1193 群馬県佐波郡玉村町上之手1395-1

群馬県立女子大学事務局教務係

TEL.0270-65-8511 FAX.0270-65-9538

E-mail : gunmagaku-center21@mail.gpwu.ac.jp

WEB : <https://www.gpwu.ac.jp/>